

最新作『三姉妹～雲南の子』公開記念

ワン・ピン(王兵)監督傑作選 | 現代中国ドキュメンタリーの名作を観る

# 満州時代と鉄西区

トークショー決定!

5月19日(日) 14:45

◆14:45~15:45 「満州時代と鉄西区」トークショー

ゲスト: 澤田武彦さん(奉天会事務局長)、天野博之さん(満鉄会常任理事)

◆15:50~ 『鉄西区 第三部: 鉄路』上映(終映18:00)

料金: 当日1,500円(劇場で販売の前売4回券使用可)



ワン・ピン監督の名前を世界に知らしめた伝説のドキュメンタリー『鉄西区』。その舞台である中国東北部・瀋陽は、日本占領時代の「満州・奉天」です。鉄西区とは満州鉄道の鉄路の西側の地区で、日露戦争後、日本によって、東側の満鉄付属地の開発と平行し、鉄西区の工業地区開発が活発に行われました。鉄西区とは一体どんな場所であったのか。満州時代からの鉄西区の歴史を知るお二人のゲストをお招きし、知られざる鉄西区を知る非常に貴重なお話を伺います。

ゲスト:

**澤田武彦さん**(奉天会事務局長): 1931年、父の赴任先の仙台に生まれ、その後東京に移る。父の転勤に伴い、6歳の時に満州・奉天市(現在の瀋陽)に渡る。奉天の鉄西区工業地帯に日本の各企業が進出し始めた頃で、同地区に開校した鉄西小学校(現瀋陽市第31中学校)に通う。44年、奉天第二中学校に入学。同年暮れに朝鮮京城市に移住し、2学年在学中に終戦を迎え、同年11月に引き揚げ。89年、94年には鉄西小学校同窓会で母校訪問の旅を主催。1953年に設立された奉天会の事務局長を2003年より務める。

**天野博之さん**(満鉄会常任理事): 1935年、満州大連市に生まれる。42年、撫順市永安在満国民学校に入学、43年2学期から吉林市江北満国民学校に転校、46年3月に撫順に戻り、47年7月に帰国。現在は満鉄会常任理事(広報担当)。著書に、「満鉄を知るための十二章」(吉川弘文館)、「満鉄特急「あじあ」の誕生」(原書院)など。父・富一は1933年満鉄入社、本社総裁室勤務。満州国政府に仕向後、撫順炭礦勤務。終戦時は参事。

## 鉄西区

全三部 1999 - 2003 | 中国語

山形国際ドキュメンタリー映画祭2003大賞 / 2002リスボン国際ドキュメンタリー映画祭グランプリ

2003マルセイユ国際ドキュメンタリー映画祭グランプリ / 2003ナント三大陸映画祭ドキュメンタリー部門グランプリ

日本占領中の満州・奉天に設立され、のちに20世紀中国の重要な重工業地帯となった瀋陽の鉄西区。しかし開放経済の波にのれず、歴史ある工業地帯は廃れ、労働者たちは仕事も住まいも失っていく。ひとつの時代の終焉という叙事詩を、小さなデジタルカメラで撮影し、3年以上の月日をかけて全三部作で完成させた記念碑的作品。本作は各部ごとに完結しています。三部のみでも鑑賞いただけます。

### 鉄路 鉄西区: 第三部 130分

鉄西区の工場を結び、かつて貨物の運搬に多忙を極めながら、今では大きな役目を終えた鉄路。暇をもてあます鉄道員から、やがて線路付近の石炭や鉄くず拾いで生計をたてている父と息子が物語の中心となる。ある日、父親は石炭泥棒として警察に捕らえられ、いつも無表情だった息子が突如として……。鉄西区三部作の中で最もエモーショナルな一編で、見ている側も動揺するほどに感動的な瞬間が記録されている。



ワン・ピン(王兵)監督傑作選 | ニュー・マスター版

鉄西区 工場 [第一部] 街 [第二部] 鉄路 [第三部]

鳳鳴—中国の記憶

5月11日(土)~24日(金)

\*上映時間は『三姉妹～雲南の子』HPの特設ページをご覧ください。

www.moviola.jp/sanshimai

お得な前売4回券発売中! 5/10(金)まで劇場窓口のみ販売

■料金(税込): 前売4回券4,000円 / 当日一般1,500円

渋谷駅より徒歩8分。  
宮益坂上がり、次の信号スターバックスコーヒー右手入る。

フオンミン  
[シアター]  
イメージフォーラム

03-5766-0114 www.imageforum.co.jp

自由席 / 整理券 / 定員入替制

ワン・ピン監督最新作『三姉妹～雲南の子』5/25[土]シアター・イメージフォーラムほか全国順次ロードショー!